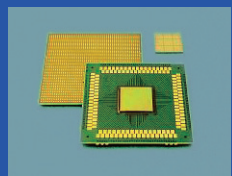




日本の知恵、 プラスチックの知恵

「尾張名古屋は城でもつ」と、うたわれた名古屋城の天守閣に、金の鯨鉾が上がったのは1612年（慶長17）。徳川家康が、江戸と大坂の中間に位置する拠点として、子供の義直のために築城したのですが、当時は遠方からも鯨が光り輝いて見えたとか。「金鯨（きんこ）城」とも呼ばれ、雌雄一対の鯨は天守閣を守る火伏せの棟瓦としてつけられました。天守閣全体の屋根は、木で作った瓦に薄くのばした銅板を張り、軽量化と強度を増した金属瓦。その上に金を張り重ねたのが金鯨で、使われた金は小判約18000枚ともされていますが、有事の際には兵糧を賄う資金にもなったそうです。

この瓦のように、薄型化するスマートフォンなどで、注目されているのが、住友ベークライトの半導体基板材料「LαZ[®]」です。これまでのプラスチックの概念を変える、薄くて硬く、熱にも反り返らない丈夫な半導体基板材料です。



LαZ[®]

半導体パッケージ基板用材料「LαZ[®]」
薄くて丈夫な半導体基板材料。低熱膨張率、低寸法変化、高Tg、高耐熱などの優れた特性を持ち、特性均一性にも優れたハロゲンフリーの環境対応コア材料です。

兵士たちを守った、火伏せの金属瓦



プラスチックのパイオニア

住友ベークライト株式会社

LαZ 事業部

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル
TEL:03-5462-4242 FAX:03-5462-4905 <http://www.sumibe.co.jp>